



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ナウル共和国

— 2020年度 地域巡回機能回復等推進事業 —
(終了時評価 2021年4月)

事業概要

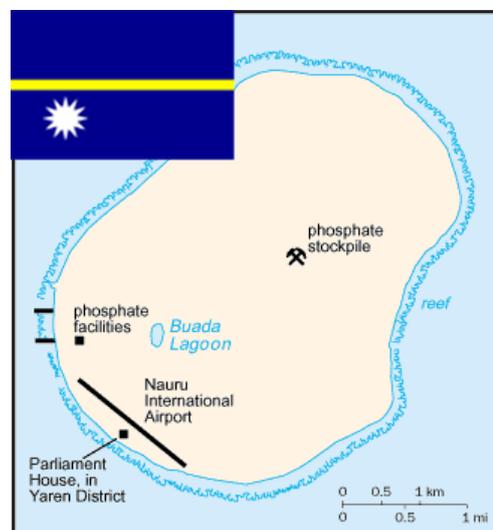
国名	ナウル共和国
プロジェクト名	2020年度 FDAPIN VII プロジェクト (地域巡回機能回復等推進事業)
実施期間	2020年8月21日(覚書署名)～2021年3月31日
相手国政府覚書署名省 庁名及び実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源局 (NFMRA : Nauru Fisheries Marine Resources Authority) 実施機関：漁業海洋資源局

プロジェクト実施の経緯と背景

ナウル共和国（以下「ナウル」という。）政府は、2005年に策定した長期戦略（National Sustainable Development Strategy 2005~2025 (NSDS、2009年に改訂)）の中で、海洋・漁業分野においては以下の8項目を戦略として掲げている。

1. NFMRAの組織力の強化
2. 海洋資源からの持続的な経済収益の拡大
3. 商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進
4. 水産養殖の開発促進
5. 食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用
6. 海洋生物及び生態系を保護するための持続可能な実践的活動の確立
7. 違法、無規制、無報告漁業の排除
8. 沿岸海洋資源の調査

このような戦略の下、NFMRAでは各種の漁業振興策を実施しているが、同国の水産関連施設は、故障や老



朽化等のため本来の機能を発揮することができず、漁業振興活動に支障を来している。

このため、ナウル政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転についての要請を行った。

財団は我が国とナウルとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航規制により専門家を派遣することができなかったことから、マニュアル等の教材を作成・送付し、電話やメール等のツールを併用して遠隔指導を実施した。</p> <p>① NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導</p> <p>ボートトレーラーの改修並びに多目的船 NF1、NF2、NF3 及び NF4 の点検を通じ、これらの安定的な稼働が確保されるとともにカウンターパートがボートトレーラーを一人で整備できるようになった。また、救命いかだ（NF1 及び NF2）の交換を行うことにより、航海の安全性向上に寄与した。</p> <p>② NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導</p> <p>NFMRA 多目的船、製氷機等の機器を修理するための工具を提供し、カウンターパートが当該施設の電動工具（パンチャー）の操作方法を習得するなど、修理・修復の技術レベルを向上させた。</p>
活動	<p>① NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的船 NF1、NF2、NF3 及び NF4 のボートトレーラー修理及び改良部品の提供 ・ 多目的船 NF1、NF2、NF3 及び NF4 の船体、船外機の点検 ・ 上記の作業に必要な技術的指導 <p>② NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動工具等の補充と使用方法に係る技術指導
投入	<p>財団側</p> <p>1) 専門家 計画 巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 2021年2月下旬～3月中旬（15日） 実績</p>

	<p>巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 2021年1月12日～3月31日の間（計57日）</p> <p>延日数 計画 15人日 実績 57人日（計画対比：380%） （注：延日数の実績には、マニュアル作成、オンライン打合せ、カウンターパートとの連絡等に費やされた日数が含まれる。また、専門家はナウルを含む3か国を対象とした遠隔での技術指導及び現地での技術指導等を併行して行った期間となっている。）</p> <p>2) 主な資機材 ボートトレーラー及び修理部品、製氷機の予備部品、工具類一式</p> <p>3) 事業費 予算額 8,735千円 実績額 8,759千円（予算対比：100%）</p> <p>相手国側 1) 主なカウンターパート NFMRA 1名</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 ワークショップ、事務室、NFMRA 車両の無償提供</p>
--	--

評価事項

特記事項：新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、専門家を現地へ派遣できず、日本から新たに作成した資料を用いてリモートで技術指導を実施した。このため、技術指導に必要な資料の作成に時間を要し、また、資料には各国共通で使用する部分があるため、作成に要した時間は個々の国に振り分けることが出来ず、技術指導に要した期間は計画を大幅に超過した。このような特殊事情に鑑み、「効率性」のうち、1. 事業費及び実施期間は評価しないこととする。

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ナウル政府の長期開発計画において海洋・漁業分野の重要戦略として位置づけられている「食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用、商用漁業の

開発の核となる民間漁業活動の促進」などに合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

ナウル政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転を要請されており、事前調査において NFMRA 多目的船の機能の強化、修理・修復及び技術指導並びに NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、廃棄部品等の扱いについては、周辺の自然環境や島民の生活環境に悪影響を及ぼさぬよう、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設（船舶）及び NFMRA ワークショップの機能回復を図り、その運営・管理に対する助言及び技術指導である。これら施設の機能回復は周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではなく、発生する廃材は、ナウルの関連法に従い、指定された場所に廃棄されている。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

上記、特記事項の理由により適切に評価することが困難である。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか プロジェクト活動はすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家がこれまでの技術指導の経験から、カウンターパートの技術水準を把握しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限により、技術指導はメール等の手段を用いて遠隔で対応した。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

新型コロナウイルスの影響で専門家を現地へ派遣できなかったことから、効率性に大きな影響があった。

◆有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの知識及び技術レベルが益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導

期待された成果：NF1、NF2、NF3 及び NF4 並びにこれらのボートトレーラーを含む当該機材の修理・修復及び維持・管理に係る技術が向上する。

ボートトレーラーの船底との接触部分を、可動部分が多く波浪や錆に弱いローラー式から、シンプルで堅牢性の高い滑り材固定式に改良したことにより、耐久性が向上した。また、カウンターパートに対し本改良に係る技術指導を行い、多目的船の維持・管理に関する能力が向上するとともに、円滑なボートの移動・上下架が可能になった。

② NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導

期待された成果：NFMRA ワークショップ（製氷機、スリップウェーウィンチ、非常用発電機：すべて稼働中）の機能強化、修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

NFMRA の多目的船、製氷機等の機器を修理するための工具類が十分ではなかったため、「パンチャー」等の電動工具を含む工具類を提供した。供与したパンチャーは、電動ドリルの性能を上回り、旋盤並みの能力を有するうえ、コンパクトな充電式で、今回のトレーラー改造を安全・効率的に完了するために不可欠な資機材であった。カウンターパートは、専門家が作成したマニュアルビデオを見ながらパンチャーの使用方法を習得した。総じて、当該活動は、ワークショップの機能向上に寄与した。

なお、製氷機、スリップウェーウィンチ、非常用発電機等については、NFMRA 職員から運転状況を聞き取り、現状を把握したのち必要に応じ指導を行った。

◆インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船及びワークショップの整備担当職員の技術が向上した。今後、多目的船が順調に稼働し、過去に指導した漁具・漁法が順調に機能すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、ナウル政府が策定した長期開発戦略に掲げる「食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用、商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進」の達成に寄与することが見込まれる。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施による多目的船の安定的な稼働は、科学的な調査に基づいた沿岸漁業行政施策の実施、集魚装置（FADs）を使用した漁業の継続、民間船及び漁船の遭難等の緊急事態への対応、一般漁業者への漁法の普及等に繋がり、均しく一般漁業者の漁業活動に裨益することとなる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートはNFMRAの職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。ナウルにおいて多目的船の果たす役割は大きく、NFMRAによる適宜点検整備や必要に応じた修理を通じて、今後も有効活用される見込みである。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、ナウル政府は当該施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識しており、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

事前調査時、ワークショップ建物の梁、棟、屋根、屋根の支柱が錆びて損傷が進み、全面的な修理が必要との情報を得ていたが、その後、NFMRAが独自に改修工事を行い、建屋は完成した。これによりワークショップを活用した技術移転を効率よく実施することができた。また、本プロジェクトの効果の継続にも寄与するものと考えられる。

(公表版) 2021-03

以上